

消化器外科Ⅰに、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和4年3月10日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 肝エキノコックス症に対する腹腔鏡下肝切除術の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 病院長 南須原 康行

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 消化器外科Ⅰ 柿坂 達彦（講師）

[研究の目的] 肝エキノコックス症は、肝切除で病巣の完全切除を行うことが唯一の根治的治療となりますが、良性疾患である本症に対してより低侵襲な術式を模索するため、術後合併症と手術因子や術後因子などの臨床病理学的因子との関連を探索することによって、開腹手術と比較して腹腔鏡手術の有用性、安全性を検証することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院消化器外科Ⅰ(旧第一外科)に入院し、2000年1月から2025年12月の間で肝エキノコックス症に対して肝切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

以下について、2026年12月31日までの情報を収集します。

- ① 患者基本情報：年齢、性別、疾患名。
- ② 手術情報：疾患名、手術名、ASA grade、手術時間、出血量、周術期輸血の有無、術後住院日数、術後合併症。
- ③ 血液検査結果：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、プロトロンビン時間、総ビリルビン、総タンパク、アルブミン、AST、ALT、クレアチニン、ICG負荷試験、血清エキノコックス症検査、腫瘍マーカー。
- ④ 画像検査所見： $^{99m}\text{Tc}\text{-GSA}$ シンチグラフィー、CT（3-D構築画像を含む）、MRI、超音波検査、レントゲン写真。
- ⑤ 病理検査所見：大きさ、脈管浸潤、周囲臓器浸潤、断端評価、囊胞内炎症細胞浸潤。
- ⑥ 予後情報：生存期間、無再発生存期間、術後アルベンダゾール内服の有無。

[研究実施期間] 実施許可日～2027年3月31日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院消化器外科I 担当医師 柿坂 達彦

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515